

ふたかみ文化センター
楽しみ方・遊び方・学び方

二上山博物館 第7回特別展

『二上山麓の石が語る世界』について

二上山博物館館長・石野博信



今回の特別展では、二上山麓の石が人と歴史とどのように関わっているかがテーマとなっています。「女王・卑弥呼から太閤秀吉まで」というサブタイトルをご覧くださいくと分かりやすいのですが、こうした有名な歴史上の人物がいた時代に二上山山麓から採取された石がどのように利用されたかを展示しているのです。

邪馬台国についてはいろんな説があります。邪馬台国・大和説では、卑弥呼の墓として桜井市の箸墓古墳が有力視されていますが、本年二月、橿原考古学研究所が行った箸墓古墳の調査の時に、葺石の一つとして二上山地域の玄武岩

が使われていることが判明しました。したがって、『日本書記』の崇神天皇十年にある「是の墓は、日是人作り、夜は神作る。故、大坂山の石を運びて造る」の記述は、本当ではなかったか。そうした大量の石を運んだ事実が人々の記憶に残り、神話の中に描かれたのではな



の葺石を初めて公開展示します。もう一つ目玉は、大阪の狭山池から出た石棺の底石です。これは秀吉の時代、厳密にいうとその子の秀頼ですが、飛鳥時代に造られたため池・大阪の狭山池は奈良時代から改修が始まっているのですが、彼も大阪の狭山池の改修を行っています。その時に二上山か

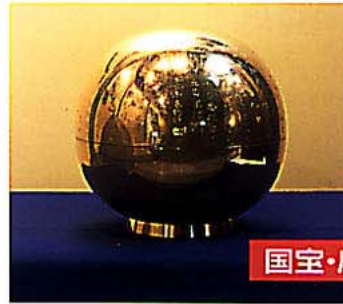
開催日	イベント
4月29日(土)~ 6月18日(日)	二上山博物館 第7回特別展 入館料 大人300円他 「二上山麓の石が語る世界」 -女王・卑弥呼から太閤秀吉まで-
6月4日(日)	アカデミー賞受賞 「フォレスト・ガンプ」上映前売 大人1400円他
6月10日(土)	サタデーナイトシネマ「砂の器」加藤 剛主演(会員制)
6月11日(日)	二上山博物館 特別展関連記念講演会 「大和の石造物と二上山の凝灰岩」 当日の観覧券が必要
6月17日(土)	第15回公開講演会「地震と活断層」無料
7月22日(土)	サタデーナイトシネマ 「カサブランカ」ハンフリー・ボガード主演(会員制)
7月30日(日)~ 8月6日(日)	夏休み特別企画「世界の昆虫展」 ハイビジョン「昆虫酒場」併映 無料
8月20日(日)	第16回公開講演会 「2万年前の日本列島と二上山文化」無料
9月10日(日)	ふたかみ室内管弦楽団コンサート (入場料2000円)
9月23日(日)	サタデーナイトシネマ「用心棒」三船敏郎主演(会員制)
10月7日(土)~ 11月26日(日)	二上山博物館 第8回特別展 入館料 大人300円他 「二上山・歴史のある風景」 市民がつくる特別展・作品募集します 二上山を背景にした文化財や伝承地などの写真・絵画を募集しています。200字以内の作品解説も一緒に提供して下さい。40点を特別展に展示します。(詳しくは博物館まで)
10月29日(日)	アンサンブル・ベルル「秋」コンサート(入場料2000円)
11月3日(金)	大激論/「大津皇子の謎を探る」無料 ハイビジョン「悠久のロマン・二上山」併映
11月25日(土)	サタデーナイトシネマ 「喜びも悲しみも幾年月」佐田啓二主演(会員制)
12月3日(日)	人形劇「ヘンゼルとグレーテル」無料 おはなしキャラバン「つばさ」市民図書館主催
12月10日(日)	第17回公開講演会 「インドと古代日本—遺跡と民族—」無料
12月17日(日)	クリスマス・ピアノコンサート(入場料2000円) 「アンサンブル“VIVIO”と田中紘二」
1月27日(土)	サタデーナイトシネマ 「風と共に去りぬ」クラーク・ゲーブル主演(会員制)
2月18日(日)	バレンタイン・コンサート(文化振興財団)
3月10日(日)	ハイビジョンキャラバン 無料 バレエ公演と 「ニーナ・アナニアシヴィリと世界のスターたち」上映
3月23日(土)	サタデーナイトシネマ 「隠し砦の三悪人」三船敏郎主演(会員制)

※期日や内容が変更される場合がありますので、事前にご確認ください。

会員募集しています。

- ▶サタデーナイトシネマ
特典：封切前映画の試写会
入会金 1000円・会費 2000円 ☎7-1000
申込先▶香芝市文化振興財団
- ▶二上山博物館友の会 ふたかみ史遊会
特典：博物館入館料減免
史遊会行事の無料参加等
歴史や自然、文化財などを楽しく学ぶ。年会費 2500円
申込先▶ふたかみ史遊会事務局(二上山博物館) ☎7-1700

魅る黄金の輝き



国宝・威奈大村骨蔵器

骨蔵器とは火葬した遺骨を納めた容器です。香芝市穴虫から出土した威奈大村骨蔵器は、金銅製の球形で表面に文字が刻まれたもの。その貴重さから国宝に指定され、現物は京都国立博物館に保管されています。現在、二上山博物館にその複製がありますが、それを見ると長い時代を経てさびたようになっています。しかし、今回は作られた当初の姿のまま、輝くばかりに復元されました。

ら採取された石で作った石棺が堤の基礎に用いられていたのです。これは六世紀に二上山から採取され、おそらく河内付近の古墳の石棺に使われたものが、奈良時代の改修の時に、これは行基さんがやっているんですが、その時にリサイクル活用したんでしょうね。だから六世紀に二上山から出て行った石が千四百年余りたつて、再び香芝の地に里帰りしたというわけです。それがまた狭山池の調査担当が香芝市在住の市民だったというから、なんとも巡り合わせの不思議さを感じますね。ですからぜひご覧頂きたいですね。

ところで、テレビなどで今話題になっている「歴史街道」に、香芝市も参加することになりました。何と言っても、香芝は二万年前には近畿地方一番の石器供給センターでしたからね。近畿全体のプロジェクトである「歴史街道」計画を通じて、香芝の歴史や文化財を大いにアピールしていこうと考えています。今年、共同イベントであるスタンラリーに二上山博物館も立候補したいと思っています。(談)



「歴史街道」に参加
—古代史ゾーン—